

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しうは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

～月 日 曜日

祖母たちの支えになつてくれた人
 田崎小 六年 曾木 海友
 私が「福祉」と聞いて最初に思い浮かぶのは「普段の暮らしを幸せに過ごす」ということとです。だから、私が今から書いていくのは、祖母の介護についてです。
 今年の春の初めに、私の祖母が亡くなりました。その一年前には、祖父も亡くなりました。祖父は、病気で急に亡くなつてしまいました。したが、祖母は、パーキンソン病という難病にかかり約八年ほど病気と戦つていました。私の小さな時の記憶では、祖母は畑や田んぼに出つて、体をバリバリ動かしている元気な祖母でした。それが、病気を発症してからは、だんだん筋力が弱つていき、自分で歩いたり食べたりすることが出来ない状態まで弱つていく姿を私は何度も見ました。それをきつかに介護保険などを用いて自宅に手すりや割れないガラス戸に変えたりと色々な工夫をし、生活しやすい環境をつくつたそうです。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どぎようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

～月 日 曜日

そういう介護の相談やアドバイスをしてく
 れたのが、ケアマネージャーという職業の方
 でした。祖母や母の心の支えだっただけで
 いたのを覚えています。
 その後、車イスでの生活になり自宅療養
 が困難になっただけで介護施設での生活にな
 りました。
 初めは、ショートステイで転々と介護施設
 を回り、特別養護老人ホームに入り療養して
 いました。まだ祖母が会話が出来るいた時は
 私たちも面会に行っ一緒に体操をしたり、
 絵の色塗りをしたりして楽しい時間を過ごせ
 た時もありました。しかし、病気の進行も早
 く寝たきりの状態になっしまいました。そ
 れにとともになっ新型インフルスが流行
 り始めて、面会の制限や禁止があっただけ
 会いに行くことが出来なくなりました。そし
 て、そのまま亡くなっ天国に行っしま
 しました。いつかは、こういう日が来るとは分
 かっていたけど、私たちは涙があふれ出まし

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたとるは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごときようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ） 月 日 曜日

た。その時、心の中で「いままで、ありがとう。とたくさん感謝の気持ちでいっぱいになりました。でも感謝していたのが私の母でした。数日間は元気がなくなっても仕方ないのにもいつも通りバリバリ働いていてる母を見て「すごいな。」と思いました。

今、私が書いていた文章を思い出すと、「普段の暮らしを幸せに過ごす・過ごせる」ということが、どれだけ幸せなことなのかというのを祖母の体が弱っていく姿を見ていて気づかされました。私たちが日常的にしていること・してもらっていることが本当に幸せなんだというにも気づきました。

これから、普通のことを出る環境に感謝しながら生活をしていきたいと思いません。

4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、「マスの中に書きましよう。」

5 おはなしたところを、「」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)

